

令和2年2月市議会総務委員会資料

第9号議案 令和2年度長崎市一般会計予算

〈目次〉

(歳出)

ページ

【2款 総務費 1項 総務管理費 2目 広報広聴費】

1 広報戦略推進費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

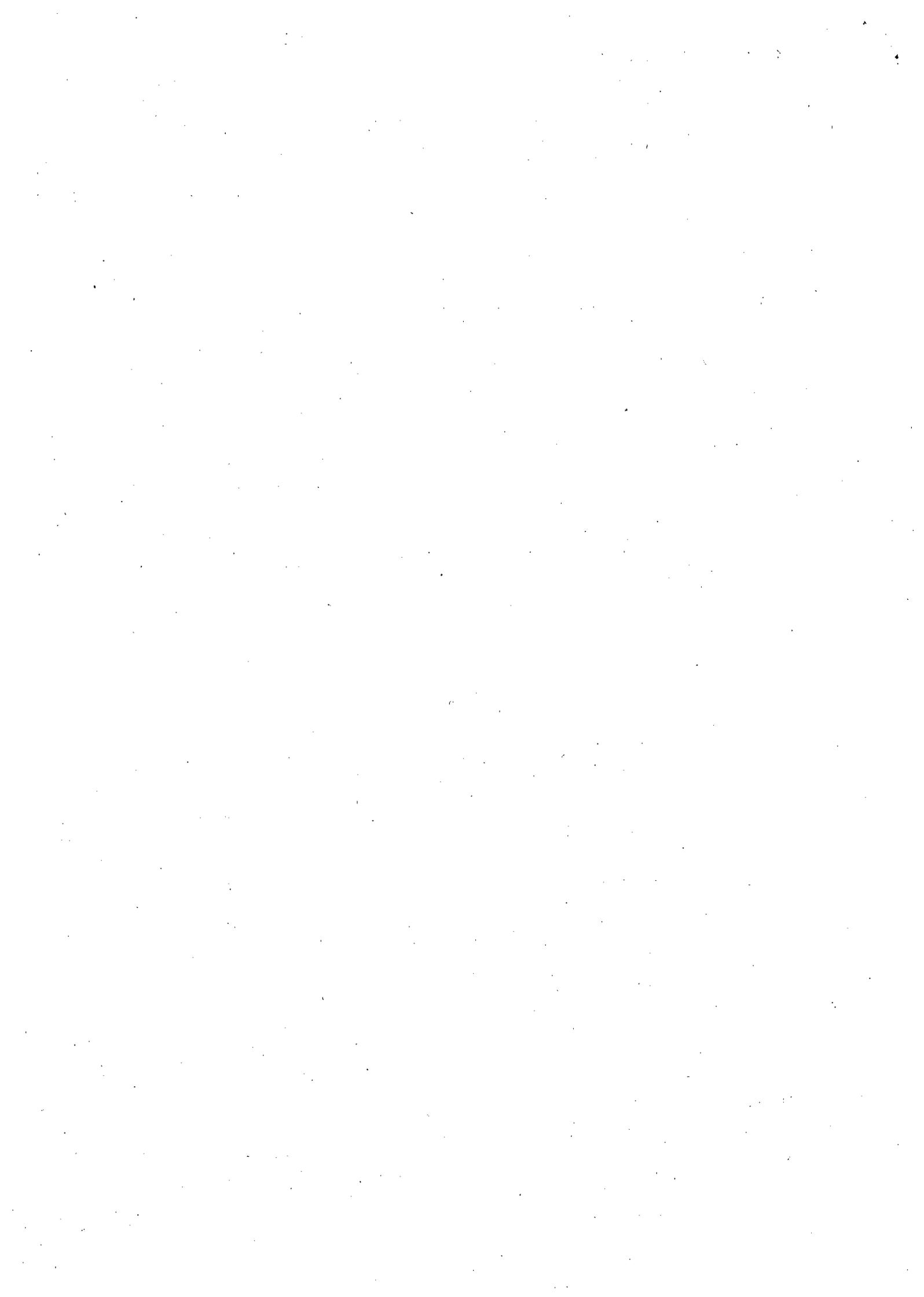
【2款 総務費 1項 総務管理費 9目 国際化推進費】

2 子どもゆめ体験費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

3 都市提携及び親善交流費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

4 福州市友好都市提携40周年記念事業費・・・・・・・・・・・・・・ 10

秘書広報部
令和2年2月



予算説明書					事業名	予算額
頁	款	項	目	番号		
110 ～ 111	2 総務費	1 総務管理費	2 広報広聴費	1-1	広報戦略推進費	千円 32,336

1 概要

市民とのコミュニケーションを深めながら信頼関係をつくり、地域と一緒にまちづくりを進めていくために、広報の役割は非常に重要である。

市民に市の政策や情報をわかりやすく、正確に伝え、市内外に市の魅力を発信するため、広報に関する専門的な知識を有する専門家の支援を受け、指針となる広報戦略に基づき広報を行う。

また、広報戦略を推進するための支援として、職員の意識改革・人材育成及び市内外に向けて長崎のまちの魅力をアピールするシティプロモーションの推進に取り組み、市役所の広報力の向上を図る。

2 事業内容

(1) 広報戦略アドバイザーによる支援 (17,159千円)

広報の分野において豊富な実績を有する専門家から、戦略的・効果的な広報を行うための支援を受ける。

ア 主な支援内容

- (ア) 職員の意識改革・人材育成に関すること
- (イ) 広報戦略に基づく個別事業の広報の企画等に関すること
- (ウ) 既存広報媒体の見直し及び有効活用に関すること

イ 広報戦略アドバイザー 鳥巢 智行 氏

長崎市出身。株式会社電通に在籍し、広告・宣伝、事業の企画立案を行う部署に所属。平和、まちづくり活動などにも取り組み、長崎伝習所事業にも参画。令和元年8月から長崎市の広報戦略アドバイザーを務めている。

ウ 支援体制

- (ア) 長崎市での業務支援・アドバイス、現地確認など 月2回
- (イ) メール等での相談・業務支援 随時

(2) 職員の意識改革・人材育成 (132千円)

広報戦略アドバイザー等による研修を実施し、広報戦略の浸透を図るとともに、職員の広報に対する意識の醸成や柔軟な思考でアイデアを発想するスキルを高める。また、広報に関する図書の整備を行い、庁内への貸出を行う。

ア 職員研修の実施

イ 図書の整備

(3) シティプロモーションの推進 (14,350千円)

広報戦略を推進するための支援として、市内外に向けて長崎の魅力をアピールするシティプロモーションを推進するため、広報ツールの制作及び広報に関するネットワークの構築等を行う。

ア 広報ツールの制作 (8,560千円)

長崎の歴史・文化や、次の時代に向けて進化の時を迎えているまちの姿など、長崎の魅力を効果的にアピールすることができる映像、冊子等及びロゴを制作する。

(ア) 映像制作 (5,354千円)

シティプロモーション映像 (本編3分、ダイジェスト版30秒) を制作する。

(イ) 冊子等制作 (2,921千円)

シティプロモーション冊子 (A5サイズ、24ページ、6,000部) 等を制作する。

(ウ) ロゴ制作 (285千円)

シティプロモーションのテーマをイメージしたコピーをもとにロゴ (1点) を制作する。

イ クリエイター・メディアとのネットワークの構築 (790千円)

広報に関する人的ネットワークを構築し、全庁的に活用することで情報発信力の強化を図る。

(ア) ネットワーク会の開催

情報発信力や社会的影響力がある市内外のクリエイター・メディアとのネットワークを構築するため、長崎市内及び東京都内において情報交換会を開催する。

(イ) その他情報収集等に係る旅費

首都圏等において、情報収集やシティプロモーションを行う。

ウ 市内外に向けた情報発信 (5,000千円)

シティプロモーションを効果的に行うとともに認知の拡大を図るため、専用ホームページを制作し情報発信を行う。

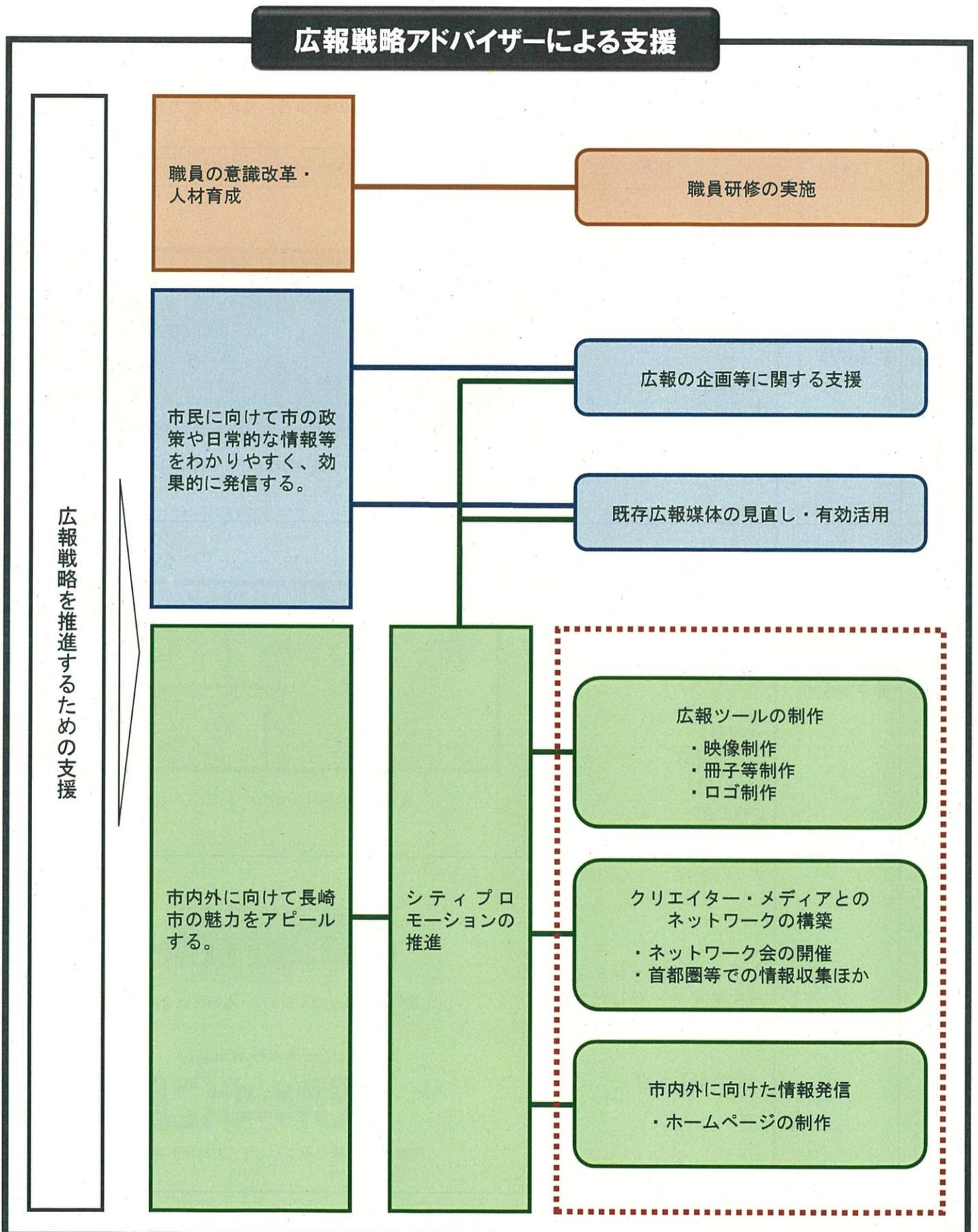
(4) その他経費 (消耗品費、郵送料ほか) (695千円)

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
32,336	15,693	—	—	—	16,643

※地方創生推進交付金 補助率1/2

【参考1】 事業内容イメージ



【参考2】シティプロモーションの推進について

広報戦略を推進するための支援として、市内外に向けて長崎の魅力をアピールするシティプロモーションを推進するため、広報ツールの制作及び広報に関するネットワークの構築等を行う。

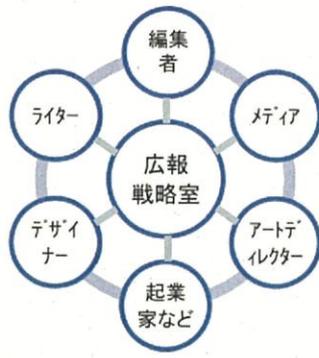
1 広報ツールの制作

長崎の歴史・文化や、次の時代に向けて進化の時を迎えているまちの姿など、長崎の魅力を効果的にアピールすることができる映像、冊子等及びロゴを制作する。

No.	項目	概要	参考（他都市事例）
(1)	映像制作	<p>長崎の魅力を表現したシティプロモーション映像を制作する。</p> <p>【内容】 本編3分 ダイジェスト版30秒</p>	 <p>佐賀県「THREE MINUTE TRIP TO SAGA」</p>
(2)	冊子等制作	<p>長崎の魅力を、イラストなどを用いてわかりやすく、関心を引くようにまとめたシティプロモーション冊子等を制作する。</p> <p>【内容】 A5サイズ 24ページ 6,000部</p>	 <p>東京都渋谷区「SHIBUYA + FUN PROJECT」</p>
(3)	ロゴ制作	<p>シティプロモーションのテーマをイメージしたコピーをもとに、ロゴを制作する。</p> <p>【制作数】1点</p>	 <p>福岡市「FUKUOKA NEXT」（福岡市総合計画）</p>  <p>福岡市「天神ビッグバン」（天神地区再開発）</p>

2 クリエイター・メディアとのネットワークの構築

広報に関する人的ネットワークを構築し、全庁的に活用することで情報発信力の強化を図る。

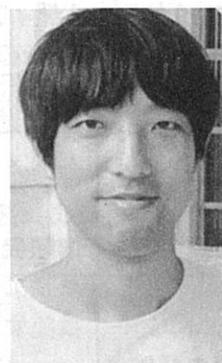
No.	項目	概要	参考（ネットワークのイメージ図）
(1)	ネットワーク会の開催	<p>情報発信力や社会的影響力がある市内外のクリエイター・メディアとのネットワークを構築するため、情報交換会を開催する。</p> <p>【開催場所】 長崎市内及び東京都内（各1回）</p>	
(2)	その他情報収集等	首都圏等において、情報収集やシティプロモーションを行う。	

3 市内外に向けた情報発信

シティプロモーションを効果的に行うとともに認知の拡大を図るため、専用ホームページを制作し情報発信を行う。

No.	項目	概要	参考（他都市事例）
(1)	シティプロモーションホームページ制作	シティプロモーションのテーマに関連する情報を集約したホームページを制作する。	 <p>東京都中野区「中野区シティプロモーション」ウェブサイト</p>

【参考3】広報戦略アドバイザー 鳥巢 智行 氏



- ・ 株式会社電通に所属し、コピーライターとして様々な企業のプロモーションから新商品の開発まで幅広く手掛ける。
- ・ 令和元年8月から長崎市の広報戦略アドバイザーを務め、広報戦略の策定に携わるほか、広報に対する意識醸成及び効果的な発信に必要なアイデアを生み出す思考法をテーマとする職員研修を2回実施するなど、職員の意識改革・人材育成に取り組んでいる。
- ・ また、月に2回、長崎市において、各事業の広報に対する支援及び既存媒体の見直し等のアドバイスをを行うほか、メール及び電話でも随時支援を行っている。

【相談実績】25 所属（令和元年8月～令和2年2月）

- 広報広聴課： 新情報誌の企画、既存媒体の活用
- 土木企画課： 長崎稲佐山スロープカーの開業に向けた広報
- 健康づくり課： がん検診受診促進の広報
- 地域支援室： 地域活性化事業の企画
- 消防局予防課： 消防団員加入促進に係る広報 ほか

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
122 ? 123	2 総務費	1 総務管理費	9 国際化推進費	1-4	子どもゆめ体験費	千円 10,466

1 概要

次世代を担う長崎の子どもたちを姉妹都市・市民友好都市等に派遣し、現地の人々との交流を通じて「個性輝く世界都市」としての人的ネットワークを拡大するとともに、文化・習慣などを肌で感じることにより、国際性を有する人材の育成を図る。

2 事業内容

(1) 派遣日程

令和2年8月12日(水)～20日(木) 7泊9日(予定)

(2) 派遣都市

セントポール市※、シカゴ市(アメリカ)※姉妹都市提携65周年

(3) 派遣団構成

中学生16人、引率職員3人 計19人

(4) 内容

ホームステイ、セントポール市を表敬訪問、おぼんフェスティバル参加、シカゴ市内視察等

(5) 研修及び発表

ア 事前、事後研修全4回(訪問先等に関する講座、語学研修等)

イ 成果発表「あじさいイングリッシュスピーチコンテスト」

「ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ」などにおいて活動報告

(6) 事業費内訳

報償費 159千円(ホストファミリー謝礼等)

旅費 224千円(引率職員日当等)

需用費 448千円(報告集作成、記念品等)

委託料 9,501千円(旅行業務委託)

その他 134千円(携帯電話借上等)

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
10,466	-	-	-	10,466	-

※子ども基金繰入金 4,597千円

市町振興共同事業助成金 4,909千円

子どもゆめ体験参加料 960千円(60千円/人)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
122 ? 123	2 総務費	1 総務管理費	9 国際化推進費	2-1	都市提携及び親善交流費	千円 5,629

1 概要

姉妹（友好）都市、市民友好都市及び国際交流に係る団体等と交流を深め、都市間ネットワークを強化する。

2 事業内容

(1) セントポール市（アメリカ）訪問及び訪問団受入れ（1,446千円）

ア 訪問日程：令和2年5月2日（土）～5月3日（日）

イ 訪問者

市長、議長、随員職員、通訳 計4人

ウ 内容

5年に1度の核不拡散条約（NPT）再検討会議が、今年4月から5月にかけてニューヨークで開催される。再検討会議に被爆地長崎を代表して市長と議長の出席を予定していることから、あわせて姉妹都市提携から65年を迎えるセントポール市を訪問し、セントポール市長の表敬訪問や市民間交流への参加により、両市の結びつきを強め、今後一層の交流促進を図る。

エ セントポール市訪問団受入れ日程：令和2年10月（予定）

オ 訪問団構成

セントポール・長崎姉妹都市委員会、セントポール市民交響楽団など 45人（予定）

カ 内容

長崎市長表敬、長崎交響楽団との合同演奏会、学校訪問、市内視察等

キ 事業費内訳

旅費 686千円（市長、議長、随員職員、通訳）

需用費 520千円（歓迎屋・夕食会、記念品等）

その他 240千円（バス借上げ等）

(2) ヴォスロール村（フランス）からの訪問団受入れ（881千円）

ア 日程

令和2年4月20日（月）～4月23日（木）

イ 訪問団構成

ヴォスロール・外海姉妹都市委員会 14人

ウ 内容

平成30年度に姉妹都市提携40周年を記念し、ヴォスロール村へ公式訪問団および市民訪問団を派遣し、現地で長崎外海・ヴォスロール委員会と一緒に交流を深めた。今回、ヴォスロール・外海姉妹都市委員会が長崎市長表敬、ド・ロ神父関連施設訪問、市内視察等を行い両姉妹都市委員会など市民間の交流を深める。

エ 事業費内訳

報償費 30 千円 (通訳謝礼金)
 需用費 490 千円 (歓迎昼・夕食会、記念品等)
 その他 361 千円 (バス借上げ等)

(3) 中国への訪問団派遣 (585 千円)

ア 日程

令和2年11月(予定)

イ 派遣都市

北京市、福建省

ウ 訪問者

市長、通訳(国際交流員)

エ 内容

中華人民共和国駐長崎総領事館開設35周年を記念し、同総領事館が日中交流の懸け橋として重要な役割を果たしてきたことに対する感謝と今後の長崎と中国の関係強化を図ることを目的とする長崎県主催の訪問団に参加するもの。主な訪問先は、中国外交部、中日友好協会など。

オ 事業費内訳

旅費 585 千円 (市長、通訳)

(4) その他親善交流 (2,717 千円)

ア 長崎平和マラソンへの姉妹都市・市民友好都市からの参加受入れ (608 千円)

イ 長崎くんち御朱印船奉納に伴うベトナム・ホイアン市訪問団受入れ (354 千円)

ウ その他姉妹都市等受入れなど (1,755 千円)

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
5,629	—	—	—	3,708	1,921

※…文化国際交流基金繰入金 1,817 千円

市町振興共同事業助成金 1,891 千円

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
122 ～ 123	2 総務費	1 総務管理費	9 国際化推進費	2-4	福州市友好都市提携40周年記念事業費	千円 5,028

1 概要

長崎市と中国・福州市との友好都市提携40周年を記念し、友好親善訪問団を相互派遣するとともに、40周年を契機とした学校交流や記念事業等を実施することにより、両市の結びつきを強め、様々な分野での今後の交流促進につなげる。

あわせて、長崎ランタンフェスティバルなどで披露されている川劇（変面）の本場である四川省成都市を関係者ととも訪問し、日本でも有数の変面のまち長崎市と変面による交流を深めることで、観光活性化につなげる。

2 事業内容

(1) 公式訪問団派遣

- ア 日程 令和2年9月21日（月・祝）～9月26日（土）5泊6日（予定）
- イ 派遣都市 福州市、成都市、上海市
- ウ 公式派遣団 市長、議長、職員3人、国際交流員（通訳）1人 計6人
（関係部局）商工部、文化観光部、水産農林部、上下水道局、
議会事務局、教育委員会 計15人 合計21人
その他、経済団体、長崎孔子廟中国歴代博物館の参加を予定

エ 行程（案）

（ア）長崎～上海→福州→成都～上海～福岡～長崎

市長、議長、国際課（2人）、文化観光部、議会事務局

（イ）長崎～上海→福州～上海～長崎（9/21（月）～9/25（金））

国際課（2人）、商工部、水産農林部、上下水道局、教育委員会

オ 訪問先での交流内容等（予定）

（ア）福州市

公式行事出席及び表敬訪問、市内視察等、その他分野別交流を予定

- ・学校交流校の視察、福州市学校との交流（三重中学校、長崎商業高校）
- ・水産交流協議書の更新（署名）、水道技術交流

（イ）成都市

市役所表敬訪問、変面交流

（ウ）上海市

長崎上海クラブ設立30周年記念行事への出席、日本総領事館表敬訪問等

カ 事業費 2,229千円（国際課分）

- （内訳）旅費 2,100千円（市長、議長、職員3人、国際交流員1人）
- 需用費 70千円（訪問先への記念品）
- 役務費 59千円（携帯電話借上等）



(2) 公式訪問団受入れ

- ア 期間 令和2年10月(予定)
- イ 訪問団 40人(予定)
- ウ 交流内容(予定) 市議会全員協議会の開催
学校訪問(交流協定調印(三重中学校、長崎商業高校))
福州市文化・芸術等の紹介、展示
観光・商工事業者間交流

エ 事業費 1,405千円

- (内訳) 報償費 60千円(歓迎行事謝礼)
- 旅費 10千円(空港送迎旅費)
- 需用費 885千円(歓迎昼・夕食会、記念品等)
- 使用料及び賃借料 450千円(バス借上げ、タクシー代)

(3) ペーロン交流(令和2年度長崎ペーロン選手権大会)

- ア 期間 令和2年7月24日(金)～7月27日(月)3泊4日(予定)
- イ 交流内容 15人の訪問団受入れ、長崎・福州合同チームで出場
- ウ 事業費 823千円
 - (内訳) 報償費 105千円(ペーロン船使用謝礼等)
 - 旅費 5千円(空港送迎旅費)
 - 需用費 433千円(食糧費等)
 - 使用料及び賃借料 280千円(バス借上げ、タクシー代)

(4) その他

- ア 記念誌作成 150 部
- イ 長崎ランタンフェスティバル芸術団交流
- ウ 事業費 571 千円
(内訳) 需用費 100 千円 (食糧費)
委託料 471 千円 (冊子作成)

3 訪問都市 (友好都市) の概要

(1) 福州市

- ア 人口 約 766 万人
- イ 面積 11,968 平方キロメートル
- ウ 提携日 昭和 55 (1980) 年 10 月 20 日
- エ 提携のきっかけ

多くの長崎華僑の出身地で歴史的なつながりがある。中日友好の船「明華号」の長崎訪問の折に、中日友好協会会長に要望書を提出。

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 5,028	千円 -	千円 -	千円 -	千円 5,028	千円 -

※…(一財)自治体国際化協会国際交流支援事業助成金 1,399 千円
文化国際交流基金繰入金 3,629 千円